

# No. 49 号 ひらつかの風

No. 49 号  
2026年3月号  
(令和8年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

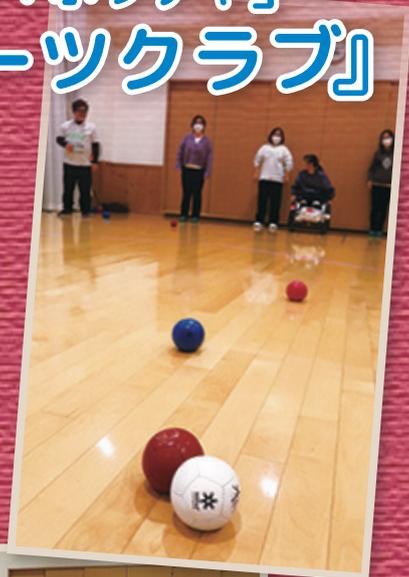


## CONTENTS

- P.1 ..... 平塚市情報
- P.2 ..... 団体レポート 「一般社団法人 F-STYLE スポーツクラブ」
- P.3 ..... お役立ち情報
- P.4 ..... センター情報・平塚市情報

団体  
レポート

## ～垣根を越えて人とつながるスポーツ「ボッチャ」～ 『一般社団法人 F-STYLE スポーツクラブ』



### 平塚市情報

第7回

## 平塚市みんなのまちづくり事例年間大賞を受賞した団体を表彰しました!



令和8年2月3日(火)の表彰式にて、年間大賞を受賞した団体を表彰いたしました。応募に御協力いただき誠にありがとうございました。

なお、令和7年8月15日～10月10日に応募いただいた事例をまとめた「事例集」を発行しましたので、是非、御覧ください。(カラー版をホームページに掲載しています。)



▲今回受賞された方々と副市長

平塚市協働推進課 ● 電話 21-9618

[https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37\\_00022.html](https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00022.html)



団体  
レポート

# 『一般社団法人 F-STYLE スポーツクラブ』 ～垣根を越えて人とつながるスポーツ「ボッチャ」～

近年注目を集めているヨーロッパ生まれのスポーツ「ボッチャ」を知っていますか？

ボッチャは、障がい者スポーツとして知られる球技です。

選手は赤または青のボールを投げ、白い目標球(ジャックボール)にどれだけ近づけるかを競います。目標球の近くにボールを投げるだけでなく、相手が投げづらくなる位置を狙ったり、ボールをはじいて動かししたりなど、投球の正確さや戦略及び運が勝敗を決めます。ボールを投げるのができなくても補助具を使用することにより、重度の運動障がいを持つ方でも楽しむことができる競技です。

パラリンピックの正式種目にもなっていますが、障がいの有無に関わらず、全ての人と一緒に参加できるスポーツとして世界中で広く愛されています。

今回は、ボッチャを通じてコミュニケーションを促進したいと取り組まれている「一般社団法人 F-STYLE スポーツクラブ」代表理事の古尾谷将治さんにお話を伺いました。



▲取材にご協力いただいたF-STYLEスポーツクラブのみなさん。左から2番目が代表の古尾谷さん。

## ◆ F-STYLE 設立の背景

F-STYLE は地域の交流を深めるための小学生サッカースクールとして立ち上がったのが始まりでした。2020年、障がいの有無だけでなく、年齢や性別を問わず誰でも楽しめるスポーツ「ボッチャ」と出会い、サッカースクールのメンバーを交えて活動を開始しました。この活動をもっと広げていきたいと、2023年6月に「一般社団法人 F-STYLE スポーツクラブ」を設立し、今では健常者、車いすや肢体不自由の方、小学生から70代まで幅広いメンバーが活動しています。

## ◆ ボッチャを通じて伝えたいこと

ボッチャは誰でも楽しめるため地域を活性化できる素晴らしいスポーツです。地域のイベントや大会を開催することでさまざまな人たちと交流する機会が持てること共に、障がい者の方々と接することで気付くことや学びを得ることもできます。

入会して間もない中学生からは、「力のコントロールが難しくて遠くに投げられないけれど、車椅子の自分でもできるスポーツを見つけた」と喜びの声が聞かれました。メンバーからは、戦略を練り仲間と共有しながら勝利をめざし協力する過程で、笑い合ったり悔しさを共有したりとコミュニケーションを図れる、との感想も。このスポーツを通じて新しい繋がりを見つけてほしい、と古尾谷さんは話されていました。

## ◆ 活動の広がり

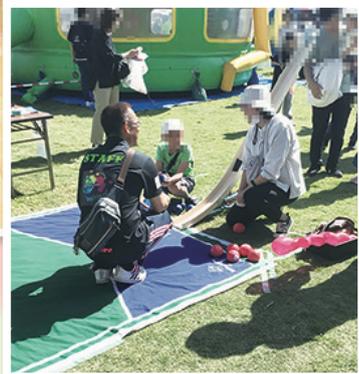
令和6年度に平塚市市民活動推進補助金を活用し、障がいの特性に応じた競技用補助具を購入しました。

「補助具を使うことで、より多くの方が公平に楽しめる環境を整えられ活動の幅が広がった。また『令和7年度平塚市みんなのまちづくり事例大賞』に表彰され、広くみなさんに知ってもらえることができ嬉しい」と古尾谷さん。市内の公民館まつりや市内のイベントで多くの方に体験の場を提供し、ボッチャの普及啓発や地域との連携を更に深めていきたいとのことでした。



▲3対3のチーム戦に参加しました。

▼市内での体験会の様子。投げられなくても補助具(勾配具)を使用することができます。



## ◆ 取材を終えて

「今年は当団体初の主催となる大会があり、全国からたくさんチームが参加します。是非多くの方に見学に来ていただきボッチャを知ってもらいたい。」と、更なる意欲も伺うことができました。取材後にチーム戦を体験しました。助け合うことでコミュニケーションが自然と取れていたことに気がつきました。初心者でも楽しめ、それでいて相手の先を読みながら戦術を組まなくてはならず奥深さもあります。市内の公民館や地域のイベントで活動しているので参加してみてください。

お問い合わせはこちら

一般社団法人 F-STYLE スポーツクラブ

メール ● [fstyle.sportclub@gmail.com](mailto:fstyle.sportclub@gmail.com)

ホームページ ● 二次元コードをご参照ください。



▲車いすで競技に参加する中学生選手。



お役立ち  
情報

# 新規登録団体のご紹介

2025年3月～2026年2月にかけてセンターに登録された  
市民活動団体をご紹介します。



## 1 山岳会 湘南ひよこ

登山、ハイキングを主体とするアウトドアスポーツ活動を通じて、市民の健康と安全登山に対する意識の向上、地域コミュニティの活性化、自然保護意識の啓発を目標に掲げて活動しています。

## 2 公益社団法人 平塚法人会青年部会

子供世代を含めて広く市民により税の仕組みや使われ方を学び納税への意識改革、税務知識を普及し適正な申告納税制度の達成を目的として活動しています。

## 3 ひらつか「てがみ」プロジェクト

平塚市在住、南米にルーツを持つ子供たち、その関係者を中心参加者として演劇の手法を使ったアートワークショップを実施。自己肯定感を育み日本語習得のきっかけを作っています。

## 4 カランコエ

次世代を生きる子供達の未来・地球を守るために、環境保全分野の専門家を呼び、講演会やワークショップを行い環境保全への行動を起こすきっかけづくりを目的に活動しています。

## 5 WAN'S LIFE 湘南里親

様々な理由で放棄された犬・猫を保護・ケア(必要な医療処置含む)を行い、譲渡会を開催して新たな家族を探しています。

## 6 平塚湘南ロータリークラブ

社会生活において奉仕の理念を実践すること。また、奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進することを目的に活動しています。

## 7 ニュードクラブ

綿花栽培からコットン製品の製作に至るまでの過程を通じて、大人と子どもが一緒になって情報収集や試行錯誤を繰り返し、仲間を増やしながらか探求を進めていく活動をしています。



## 8 日本国民救援会県央支部

冤罪事件などを社会に訴え、街頭宣伝行動やその裁判傍聴などを通じて、刑事弾圧や冤罪被害者救済およびその家族らの救援や支援人権教育を行っています。

## 9 ケアマネ有志の会 ペガサス

ケアマネジャー同士の交流会や研修会、市民に対して介護保険に関する講習会の開催等により、横のつながりを作り、相談しあえる環境と資質向上の為に活動しています。

## 10 一般社団法人 F-STYLEスポーツクラブ

誰でも簡単にできるスポーツ『ボッチャ』を通じて支え合い、仲間となれる環境を提供し、コミュニティづくりの場としても新たな人間関係の創出と、市民の社会参加の促進を図っています。

## 11 ウーマンネットワークOG会

女性が自分らしく働きながら社会に参画できるよう支え、多様な人材が活躍できる地域社会を実現します。女性事業者や企業準備中の方を対象に交流会や勉強会を開催し、情報交換やスキルアップの機会を提供します。

## 12 一般社団法人 INCLUSIVE HUB SHONAN

SUPやボッチャの体験会、地域イベント出展、学校との連携授業、情報発信を通じて、人と人、人と地域をつなぐ場を創出し、誰もが地域で活躍し支え合える社会を目指し活動しています。

## 13 西湘地域連合

勤労者の労働条件向上、賃金引上げや政策制度要求と実現を目的とし、すべての勤労者と連携して格差是正と底上げに取り組んでいます。

## 14 ハイたち!

子育てをする親子が、自然と笑顔になれる場所を提供することを目指しています。イベントや子育て世代への情報発信を通じて親同士や地域がつながり、子育てを支え合える環境づくりに取り組めます。

## コラム NPO/市民活動団体の皆さまへ

NPO法は、もともと「市民活動促進法」として考えられていました。この名前が示すように、私たちが大切にしたいのは、市民一人ひとりが主体となって社会をより良くしていく活動です。市民が参加し、地域の課題を自分たちで解決し、新しい価値を生み出していく——そんな思いが込められていました。

阪神・淡路大震災から30年がたち、社会の状況は大きく変わりました。人口減少や高齢化で活動の担い手が減り、企業も社会課題に向き合うようになるなど、市民活動を取り巻く環境も変わってきています。

また、地域に目を向けると、孤立や貧困など、生きづらさを抱える人も増えています。だからこそ、さまざまな課題に寄り添い、新しい価値を生み出すNPOの力が、今とても必要とされています。さらに、市民活動センターが持つ「人と人をつなぐ力」を生かし、企業や行政とも手を取り合いながら、参加と協力の輪を広げていくことが大切です。

今年度もアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。皆さまの声をしっかり受け止め、必要な支援に取り組んでまいりますので、どうぞお気軽にご相談ください。アンケート調査結果はまとまり次第、ご報告いたします。(さ)



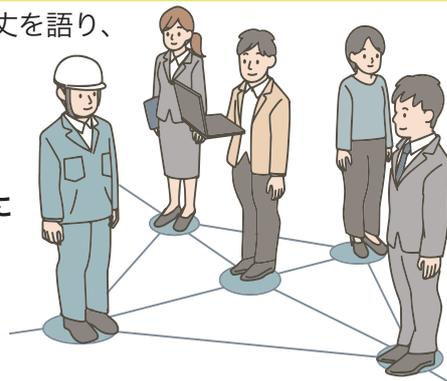
センター情報

● 団体活動にお役立てください!

何かやりたい人が話す場とつながりの会「どまのまど～弥生の会～」

“何かやりたい” “まちづくりに興味関心がある” 人が集まって思いの丈を語り、参加者と一緒に広げていく場です。どなたでもご参加いただけます。センターの土間にお気軽にお越しください♪

- 日時 ● 3月26日(木) 18:00～19:30
- 登壇者 ● 地域コミュニティ共創コーディネーター 二宮 雄岳 氏
- 対象 ● 何かやりたい人・何か始めたい人・まちづくりや市民活動に興味関心がある人・学生・若者
- 会場 ● ひらつか市民活動センター ミーティングスペース
- 参加費 ● 無料
- 定員 ● 20名
- 申込 ● メール・電話・窓口 (当日参加も可)



平塚市情報

● 令和9年度市民提案型協働事業の募集開始

令和9年度に実施する市民提案型協働事業の提案の募集を開始します。行政と協力・連携して実施したい事業がございましたら、検討段階で構いませんので、お問い合わせください。ひらつか市民活動センターでの説明会 & 相談会もご活用ください。

- 募集期間 ● 令和8年3月13日(金)～5月15日(金)
- お問い合わせ先 ● 平塚市協働推進課 電話 21-9618
- 詳細はこちら ● [https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37\\_00040.html](https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00040.html)

協働事業説明会 & 相談会

- 日時 ● 4月18日(土) 10:00～12:00
- 会場 ● ひらつか市民活動センター 会議室B
- 申込 ● 参加者は、2日前までに御連絡ください。
- ※協働の相談については、随時受け付けています。



こちらからご覧いただけます



● ひらつか市民活動センターのホームページをご活用ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



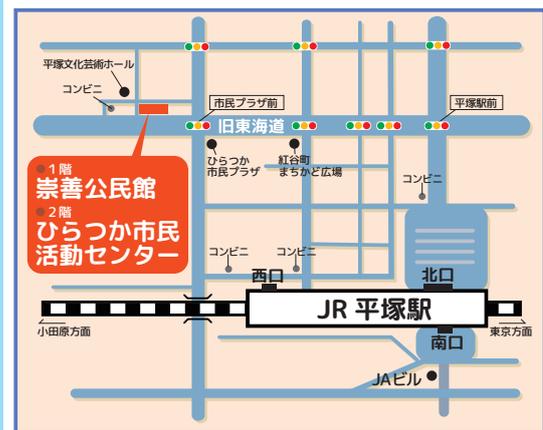
団体イベント情報



センター開催報告

編集後記

春の訪れとともに何か新しい活動を始めてみませんか？ボッチャのほっこりする手触りのボール、触れてみてください。市民活動へのきっかけはライフスタイルや興味で人それぞれ、やってみたいことに挑戦してみてくださいね。(し)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045  
 神奈川県平塚市見附町 1-8  
 TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601  
 Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net  
 URL ● <https://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2026年2月15日現在)  
 登録団体数 ● 452 団体  
 (内訳 市民活動団体…327 団体、一般団体…125 団体)

